



地域連携室だより Vol.50

雨が多い季節、皆様いかがお過ごしですか？

当院では、長崎大学病院の研修医が週3回、病棟・外来・夜間の救急外来で診療を行っています。

今号は一昨年から行われている、この臨床研修についてご紹介します。

発行：平成25年7月10日
長崎市深堀町1-11-54
長崎記念病院地域連携室
電話 095-871-1515(代)

●新臨床研修医制度の狭間で

新臨床研修医制度とは、それまでは卒業と同時に医局に入局し、研修病院や診療科目が限られていた研修医が、2年間は各科をローテートし、自由に研修病院を選択できるという制度です。平成16年に導入されました。

そのことにより、卒業した医師が、都市部や一部の人気施設に集中し、地方で若い人材が不足している事が問題となっているのは皆さんもご存知だと思います。

そこで長崎大学では、より多くの研修医を確保するために、専門部署・医療教育開発センターを開設し、細やかなサポートを行う事によって、魅力ある大学＝研修医に選ばれる大学づくりに取り組んでいます。

●研修医の思いと市中病院の現状

センター開設により徐々に研修医は増えたものの、長崎大学の学生で県外の病院を選んだ人に理由を聞いたところ、プライマリケアができない事が挙げたということです。

長崎県の三次救急を担う大学病院は、重症患者の割合が多いところです。その反面、風邪や腹痛、熱発といった患者さんはほとんどといていいほど来ることはありません。

意外にも研修医は一次、二次救急の診療経験をしたいということがわかりました。しかしながら、一次、二次救急に携わる市中病院は、先にも述べたように人材不足で、日常診療もぎりぎりのところで行われ、後進の教育に携わる余裕はありませんでした。

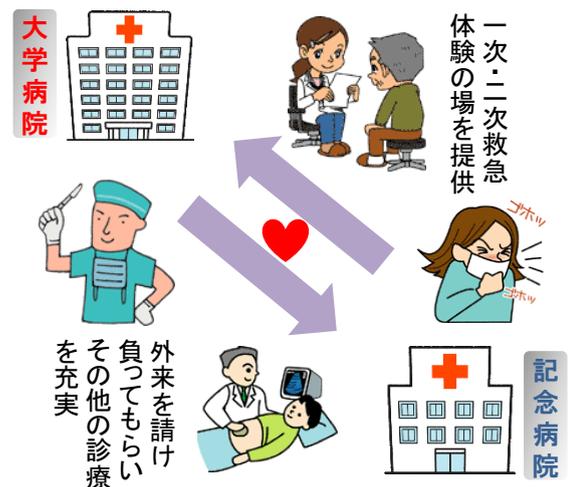
研修医が診たい身近な症例が大学病院には少ない一方で、身近な症例が多い市中病院には研修医を指導する余力がない・・・そんな問題点を抱えていたのです。

●ウィンウィン！！

その問題を解決するために出た構想が地域病院での臨床研修です。

「研修医が大学の指導医と共に来院し、患者さんのファーストタッチに携わり、問診、診断、処方等をマンツーマンで行なう」というものです。

これを聞くと、市中病院は研修医に研修の場を提供するだけと思われそうですが、この構想はもう一つ素晴らしい旨味を含んでいます。それは、今まで常勤医師が担当していた外来を大学の指導医と研修医に行ってもらう事で、勤務医の負担軽減につながり大学病院との距離感も縮めるということでした。これにより互いに課題を補い合う素晴らしいシステムが始動しました。



指導医の先生方

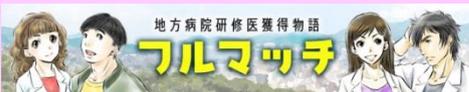
月曜午前病棟・水曜午後外来担当



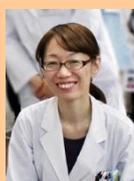
長崎大学病院
医療教育開発センター長
濱田久之 先生
はまだ ひさゆき

現在、日経関連のサイトで「フルマッチ」を連載中。ぜひ読んで下さい。

小説 フルマッチ で検索



火曜午後外来担当



長崎大学病院
医療教育開発センター助教
神白麻衣子 先生
こうじろ まいこ

研修医が、少しでも将来の長崎を担っていけるよう共に頑張ります。ご協力をお願いいたします。

時間外救急外来担当(月または木 12時～21時)



長崎大学病院
医療教育開発センター
救急医療教育室長
長谷敦子 先生
ながたに あつこ

麻酔管理も行っています。研修医への温かいご指導をよろしくお願いいたします。

病棟研修



① まずはカルテで情報をチェック



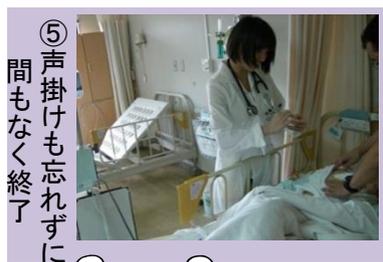
② 患者さんの元へ行き診察開始



③ 診察して



④ チューブの交換に取り掛かります



⑤ 声掛けも忘れず間もなく終了



⑥ 最後はカルテに記録します



時間外救急研修



時間外救急研修の出勤時間は正午。午後イチの研修は、手術がある時には麻酔管理を行ったりします。そして午後5時—当直帯に入りました。午後9時までの間、直接来られる患者さん、救急搬送の患者さんの初期診察に携わります。時には大学病院への救急搬送に同行したりします。

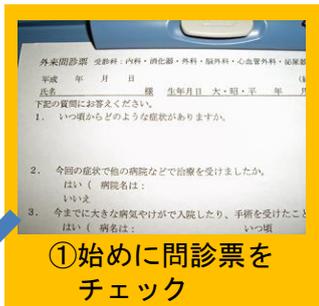
ユニフォーム
かっこいい!



～全身麻酔研修中～



外来研修



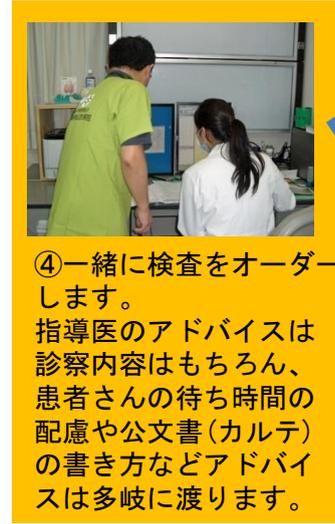
① 始めに問診票をチェック



② 診察します



③ 指導医に症状や考えられる疾患をプレゼンテーション



④ 一緒に検査をオーダーします。指導医のアドバイスは診察内容はもちろん、患者さんの待ち時間の配慮や公文書(カルテ)の書き方などアドバイスは多岐に渡ります。



⑤ 結果の説明をします

【おまけコーナー】



医療人育成の文字はモチベーション高まるデザインですね!



病棟研修を終えた先生に話を伺ったところ、大学病院では急性期治療を終えると他院へ転院してしまうので、診察した患者さんがその後どうなっているのかが気になっていたそうです。今回、地域研修で長期入院の患者さんの診察に携わり、少し理解することができたとおしゃっていました。将来は患者さんの立場に立ったドクターを目指したいという先生方を拝見して、私たちも何かしら力添えができればと思いました。

地域連携室の業務にいつもご協力いただき誠にありがとうございます。皆さまには今後も臨床研修について今後ご理解、ご協力頂ければ幸いです。取材にご協力頂いた長崎大学病院の先生方ありがとうございました。



～お願い～
指示書等の書類は、**主治医宛**に郵送又は受付にお持ちください。